

10月28日（土）大会第1日 研究発表・パネルセッション一覧

	第一部会 (法文1号館212教室)	第二部会 (法文1号館113教室)	第三部会 (法文1号館214教室)	
10:00	松宮観山の神儒仏三教思想 における「道」と「教」 司会 加藤みち子(中村元東方研究所)	対馬藩儒満山雷夏(一七三六～ 九〇)の藩屏論と礼制論 司会 土田 健次郎(早稲田大学)	『高嶺遺稿』中の「支那哲学」 ノートにおける井上哲次郎「東 洋哲学史」講義について 司会 上原 雅文(神奈川大学)	10:00
10:30	近世武士道論の系譜と 「武士」統制—山鹿素行の場合— 司会 加藤みち子(中村元東方研究所)	佐藤一斎の「天」 —本居宣長以後の超越者観念— 司会 土田 健次郎(早稲田大学)	「現象即実在論」と明治日本の 近代性 司会 上原 雅文(神奈川大学)	10:30
11:00	親鸞における法然門下での 「綽空」改名の真相 司会 斎藤 真希(静岡大学)	クリストヴァン・フェレイラ 『顛偽録』再考 司会 鈴木朋子(お茶の水女子大学)	『国体論史』編述者・清原貞雄 の国体論 司会 畑中 健二(東京工業大学)	11:00
11:30	日韓禅師たちの浄土観 —道元と知訥を中心に— 司会 斎藤 真希(静岡大学)	中国伝来教化歌謡の受容 ——『六論衍義』詩篇を一例 として—— 司会 鈴木朋子(お茶の水女子大学)	明治四〇年代の『平家物語』研 究—山田孝雄と館山漸之進を中 心に 司会 畑中 健二(東京工業大学)	11:30
12:00	昼 食 (評議員会 法文1号館215教室)			12:00
13:00	如来教説教の想像力としての 近世親鸞伝 司会 曾根原 理(東北大学)	蟹養齋の礼楽思想について —楽を中心として— 司会 田尻 祐一郎(東海大学)	福沢健全期『時事新報』の署名 入社説について 司会 苅部 直(東京大学)	13:00
13:30	古代神宮祭祀と律令神祇祭祀 —太玉串と幣帛の観念を中心 として— 司会 曾根原 理(東北大学)	荻生徂徠の「古文辞学」に関す る再考——明代儒学とのかわ りからみる 司会 田尻 祐一郎(東海大学)	三上参次の歴史意識 —同時代史認識の観点からの —考察— 司会 苅部 直(東京大学)	13:30
14:00	思想史の方法論をめぐって ——中世と近世をつなぐもの 司会 富樫 進(東北福祉大学)	太宰春台『経済録』および 『経済録拾遺』を再考する 司会 田尻 祐一郎(東海大学)	「国民多数の幸福」のための 法典 —梅謙次郎における経済と法— 司会 森上 優子(文部科学省)	14:00
14:30	一条兼良『日本書紀纂疏』 における解釈学とその意義 司会 富樫 進(東北福祉大学)	休憩		14:30
15:00	世阿弥の能楽論における道学の 反映序論—その引用と用語指摘 を中心に— 司会 吉村 均(中村元東方研究所)	桐原 健真 (金城学院大学)	島地大等の「本覚思想」概念 司会 前川 健一 (創価大学)	15:00
15:30	為頭流歌伝書の検討 —秘伝化する古今注— 司会 吉村 均(中村元東方研究所)	パネルセッション カミとホトケの幕末維新 ——交錯する宗教世界 司会 青野 誠 (一橋大学・院) 上野 大輔 (慶應義塾大学)	近代日本における仏教と外交 ——水野梅暁の活動を例として 司会 簡 冠釗 (東北大学・院)	15:30
16:00	信長の現実的「勤皇」の評価を めぐって —白石・山陽・蘇峰 司会 徳重 公美(姫路文学館)	コメント 林 淳 (愛知学院大学)	宮沢賢治の改宗問題 —信仰と家族観から— 司会 岡田 大助(江戸川大学)	16:00
16:30	源豊宗の「秋草の美学」 ——矢代幸雄の美術史学と 比較して—— 司会 徳重 公美(姫路文学館)			16:30
17:00				

*所属の後の「院」は大学院生であることを示す。